3年 2学期【国語】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
取材して知らせよう	自分の考えと取材した内容，全体と中心にする内容など，情報と情報との関係について理解している。	必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，メモをしている。	いちばん伝えたいことを中心にして，段落のつながりを考えて報告文を書こうとする。
手紙を書いて伝えよう	丁寧な言葉を使うとともに，敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	自分の気持ちとそれを支える理由や事例との関係について，相手や目的によって，手紙の書き方を工夫している。	自分の気持ちを手紙に書いて，伝えている。
		行事の案内やお礼の文章を書くなど，伝えたいことを手紙に書いている。	
わすれられないおくりもの	物語を読むことで，主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。	あなぐまと森の動物たちの気持ちの変化や情景について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	場面の様子や人物の心情を思いかべながら，あなぐまが森のみんなに残してくれた「おくりもの」は何だったのかを読んでいる。
		「わすれられないおくりもの」を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。	
ローマ字	日常使われている簡単な単語について，ローマ字で表記されたものを読み，ローマ字で書くことができる。		ローマ字の書き表し方のきまりがわかり，日常使う単語をローマ字で読み書きしようとする。
くらしと絵文字	主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。	「絵文字の特長」や「絵文字のこれから」について，中心となる語や文を見つけて要約している。	くらしと絵文字とのかかわりを，段落のつながりや段落の要点に注意して読んでいる。
	筆者の主張とそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。	
気持ちを伝える話し方		相手に伝わるように，話し方や聞き方などの働き（言葉・表情・姿勢・うなずき方）を考えている。	同じ言葉でも，場面や言い方によって気持ちの伝わり方が違うことについて考えている。
千子千子の木	様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し，語彙を豊かにしている。	豆太の気持ちの変化や性格について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	場面や情景の移り変わりとともに変化する豆太の気持ちを想像豊かに読むとともに，物語のおもしろいところを紹介する文章を書いている。

「モチモチの木」	「モチモチの木」を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。	「モチモチの木」のおもしろいところを、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことをはっきりさせて紹介し合っている。	
おすすめ図書カードを作ろう		物語などの文章を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、感想を書いたりしている。	「おすすめ図書カード」を作り、おもしろかった本を紹介し合っている。
はっとしたことを詩に書こう	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、詩を書く中で使うとともに、語彙を豊かにしている。	心が動いたことが明確になっているかなど、詩に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	自分の周りに目を向けて、心が動いたことや強く感じたことを、表現を工夫して詩に書いている。
ことわざ慣用句	長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り、使っている。		ことわざ・慣用句の成り立ちや意味を知り、その正しい使い方がわかるようにカードにまとめている。